

ク M 「MSV」

グフ試作実験機

機体名	グフ試作実験機	画像
型式番号	MS-07C-5	
英語名	GOUF EXPERIMENT MODEL	
所属	ジオン公国軍	
パイロット		
装甲材質	超高張力鋼（超硬スチール合金）	
装備	ヒートサーベルシールド	
作品名	MSV	
参考書籍	MSV コレクションファイル「地球編」講談社ポケット百科シリーズ (33) モビルスーツバリエーション 2 ジオン軍 MS・MA 編講談社のポケットカード (9)	

内容

MS-07 をライセンス生産していたツィマッド社が、同社にて開発中だった局地戦用 MS 用の実験母体として、MS-07 グフから改修して製作した機体。

詳しい資料は残されていないが、その形状から主に新型ターレットとヒート剣、脚部推進器などの稼動実験に用いられていたものと推測される。

完全な実験機のために両腕の固定武装類は取り外されており、実験には参加していないようだ。後にこの実験データはツィマッド本社に送られ、MS-09 の開発に取り入れられた。

■ 内容（MSV コレクションファイル）

本機はマイナーチェンジシリーズとして知られる C 型系の中でも、最も異色の機体である。

腕のヒートロッドと内蔵機関砲を撤去し、07 型の特徴だった固定武装を廃したのだ。

実はこれは 07 型をライセンス生産していたツィマッド社が、開発中の局地戦機用機の実験機として B 型を改修した機体であり、軍によって便宜的に C-5 の型番を授けられたのである。

テストされた新機材は新型ターレットとそれに連なる関連機器および電子機材、そして装甲形状と脚部推進器であった。

テストは北米の試験場で行われ、収集データはすぐさま本国に送られて 09 型の開発にフィードバックされた。

本機の生産は 1 機のみで、実戦参加の記録はない。

■ 内容（ポケット百科）

MS-07C シリーズのうち、もっとも異色であったのが、この C-5 タイプであった。

この機は固定武装をもたず、ヒートサーベルを標準武装とし、モノアイを十文字形のものに換装したという、グフとは思えないほど型破りのモビルスーツであった。

生産は一機のみで、実戦参加の記録はない。

C タイプとよばれる一連のマイナーチェンジ型のグフのうちでも、C-5 タイプは異色であった。

両腕の固定武装を廃し、新たにヒートサーベルが装備され、モノアイが十文字に換装された。じつは、この機は、つぎに開発される YMS-09 のためのデータ収集用テスト機で、一機しか製作されず、実戦にも参加していない。

この C-5 タイプによっておこなわれた実験のうち、もっとも重要だったのが新型推進エンジンをもちいた高速移動と、ヒートサーベルのテストである。

そのため、背部ランドセルのバーニヤを可能なかぎり強化し、くわえて脚部に補助推進エンジンを装備している。

くわしいテストデータはのこっていないが、いちおうの成功はみたらしい。

なお、ヒートサーベルは、この時点で、すでに完成していた。

■ 内容（ポケットカード）

MS-07 グフは、MS-06J より局地戦用モビルスーツの色が強かったため、C 型とよばれる各種のマイナーチェンジ型が登場した。

そのなかでも、もっとも異色だったのが C-5 型であろう。

固定武装を廃し、モノアイを十文字形に換装したり、標準武装としてヒートサーベルを装備するなど、グフシリーズとしては型破りであった。

事実、この C-5 型は、つぎに開発をすすめていた YMS-09 ドム(プロトタイプ)のテスト機で、データ収集用につくられたものだった。

備考

スペック

項目	内容
全高	18.7m
頭頂高	
全長	
本体重量	57.4t
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスター推力	
センサ有効半径	